RVシリーズルータの基本的なワイヤレス設定

目的

無線ネットワークは、電波を介して情報を送信することによって動作します。電波は、有線 ネットワークよりも侵入者に対して脆弱です。ルータの基本的なワイヤレス設定を設定する ことで、ネットワークをより安全に保つために、次の手順を実行できます。RVシリーズル ータには、同じデフォルトパスワードを使用する4つのデフォルトのService Set Identifier(SSID)が用意されており、これらをカスタマイズしてネットワークセキュリティを 強化できます。

この記事では、RVシリーズルータの基本的なワイヤレス設定の設定方法を説明します。

該当するデバイス

• RVシリーズ

[Software Version]

- 1.0.3.16:RV130W
- 1.0.0.17 RV132W
- 1.0.0.21:RV134W

ワイヤレスの基本設定

ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[Wireless] > [Basic Settings] を選択 します。

注:この記事の画像は、RV130Wルータから取得したものです。メニューオプションはデバ イスによって異なります。



ステップ2:ワイヤレスネットワークをアクティブにするには、[Enable] チェックボックス がオンになっていることを確認します。このオプションはデフォルトでオンになっています が、RV134Wの[5G Basic Settings]領域の[Radio]はオフになっています。RV134Wの5G Basic SettingsのEnable Radioチェックボックスにチェックマークを入れると、Wireless-AC対応クライアントデバイスとのWireless-AC接続が可能になります。また、RV132Wと RV134Wには、USBポートとルータ背面のリセットボタンの間に位置するワイヤレス無線用 の物理スイッチが装備されています。このページを操作するには、ON位置である必要があ ります。

Basic Settings	
Radio:	☑ Enable
Wireless Network Mode:	B/G/N-Mixed ▼
Wireless Band Selection:	● 20MHz ○ 20/40MHz
Wireless Channel:	Auto 🔻
AP Management VLAN:	1 🔻
U-APSD (WMM Power Save):	Enable

ステップ3:[Wireless Network Mode] ドロップダウンリストで、ワイヤレスネットワークモードを選択します。

次のオプションがあります。

- B/G/N-Mixed:Wireless-B、Wireless-G、およびWireless-Nデバイスをネットワークに接続できます。[B/G/N-Mixed]を選択すると、さまざまなデバイスをワイヤレスネットワークに接続できます。
- B-Only:802.11b標準のみをサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします
 - 。Wireless-Bの最大Rawデータレートは11 Mbit/sです。この無線帯域のデバイスでは、2.4

GHzの周波数範囲で動作する他の製品からの干渉が頻繁に発生します。

- G-Only:Wireless-G規格のみをサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにしま す。802.11g規格は、2.4 GHz周波数範囲で最大54 Mbit/sで動作します。
- [Nのみ(N-Only)]:Wireless-N標準のみをサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします。802.11n標準は、2.4 GHzと5 GHzの両方の周波数帯域で動作します。
- B/G-Mixed:802.11bおよび802.11g標準をサポートするデバイスをネットワークに接続できます。
- G/N混合:802.11gおよび802.11n標準をサポートするデバイスをネットワークに接続できます。

注: ワイヤレスクライアントデバイスが特定のワイヤレスネットワークモードで動作する場合は、そのネットワークモードを選択することをお勧めします。たとえば、ワイヤレスデバイスが802.11N標準のみをサポートしている場合、[Wireless Network Mode]ドロップダウンリストから[N-Only]を選択する必要があります。その後、異なるワイヤレスネットワークモードで動作するデバイスの範囲がある場合は、混合ネットワークモードオプションのいずれかを選択することをお勧めします。この例では、[B/G/N-Mixed]が選択されています。

Basic Settings	
Radio:	Enable
Wireless Network Mode:	B/G/N-Mixed 🔻
Wireless Band Selection:	B/G/N-Mixed B-Only 40MHz
Wireless Channel:	G-Only N-Only
AP Management VLAN:	B/G-Mixed G/N-Mixed
U-APSD (WMM Power Save):	Enable

RV134Wを使用している場合は、Wireless-AC互換のワイヤレスクライアントデバイスとの Wireless-AC接続のために、5Gの[Basic Settings]領域で追加のワイヤレス設定を構成できま す。このオプションは、RV134Wでのみ使用できます。

次のオプションがあります。

- Aのみ:5.725 ~ 5.850 GHzで動作し、最大54 Mbpsをサポートします。ネットワークに Wireless-Aデバイスしかない場合は、このオプションを選択します。
- [N/AC-Mixed]:ネットワークにWireless-NデバイスとWireless-ACデバイスが混在している場合は、このオプションを選択します。
- [A/N/AC-Mixed]:ネットワークにWireless-A、Wireless-N、およびWireless-ACデバイスが混 在している場合は、このオプションを選択します。これは、RV134Wのデフォルトの5G設定 です。

<u>-</u>
MHz 🖲 80MHz

ステップ4:ステップ3でB/G/N-Mixed、N-Only、またはG/N-Mixedを選択した場合は、ネットワーク上のワイヤレス帯域幅を選択します。 統合されていない場合は、ステップ5に進んでください。

RV130WおよびRV132Wの場合は、[Wireless Band Selection]で無線帯域を選択できます。 次のオプションがあります。

- 20 MHz:B/G/N-Mixed、G/N-Mixed、およびN-Onlyネットワークモードで動作しますが、スル ープットが低下する傾向があります。
- 20/40MHz: ルータは20 ~ 40MHzの間で自動的に20 ~ 40MHzを切り替えます。スループットは優れていますが、20MHzほど安定していません。

注:この例では、20MHzが選択されています。

Basic Settings	
Radio:	Enable
Wireless Network Mode:	B/G/N-Mixed ▼
Wireless Band Selection:	20MHz 20/40MHz
Wireless Channel:	Auto 🔻
AP Management VLAN:	1 🔻
U-APSD (WMM Power Save):	Enable

RV134Wでは、[Wireless Channel Width]でワイヤレス帯域を選択できます。次のオプションがあります。

- 20 MHz:B/G/N-Mixed、G/N-Mixed、およびN-Onlyネットワークモードで動作しますが、スル ープットが低下する傾向があります。
- 20/40MHz: ルータは20 ~ 40MHzの間で自動的に20 ~ 40MHzを切り替えます。スループットは優れていますが、20MHzほど安定していません。
- ・80MHz:RV134Wのデフォルト設定です。Wireless-ACモードの最適なスループットを実現します。

注:この例では、20/40MHzが選択されています。

5G Basic Settings	
Radio:	Enable
Wireless Network Mode:	A/N/AC-Mixed v
Wireless Channel Width:	O 20MHz O 20/40MHz O 80MHz
Wireless Channel:	Auto 🔻
U-APSD (WMM Power Save):	Enable

<u>ステップ5:[</u>Wireless Channel]ドロップダウンリストで、ワイヤレスチャネルを選択します 。使用するチャネルがわからない場合は、1 ~ 2.412 GHZまたは11 ~ 2.462 GHzを選択し ます。

注:[Auto]を選択すると、ルータはワイヤレス周波数を最も輻輳の少ないチャネルに自動的 に変更できます。ネットワークに2.4 GHz周波数のデバイスが多い場合は、チャネル1 ~ 2.412 GHzまたは11 ~ 2.462 GHzを選択することをお勧めします。ほとんどのコンシュー マグレードのアクセスポイントは、デフォルトでチャネル6に設定されています。1 ~ 2.412 GHzまたは11 ~ 2.462 GHzを選択すると、デバイス間の干渉を排除できます。チャ ネルは、周波数範囲と速度が若干異なります。低い周波数を選択すると、無線範囲は長くな りますが、速度は遅くなります。周波数が高い場合は、無線範囲は短くなりますが、速度は 速くなります。この例では、ワイヤレスチャネルはデフォルト設定の[Auto]のままになって います。

Basic Setting	S					
Radio:			Enable			
Wireless Network	Mode:		B/G/N-Mixed ▼			
Wireless Band Se	lection:	● 20MHz				
Wireless Channel	Wireless Channel:					
AP Management	/LAN:		Auto 1-2.412 GHZ 2-2.417 GHZ 3-2.422 GHZ			
U-APSD (WMM P	ower Save):					
Wireless Table			4-2.427 GHZ 5-2.432 GHZ			
wireless table			6-2.437 GHZ			
Enable SSID SSID Name		7-2.442 GHZ 8-2.447 GHZ	ecurity Mode			
	ciscosb1		9-2.452 GHZ 10-2.457 GHZ	sabled		
(OFF)	ciscosb2		11-2.462 GHZ	Disabled		

RV134Wの5G Basic Settingでチャネルを設定する場合は、36-5.180GHz ~ 161-5.805GHzを選択できます。

5G Bas	ic Settings					
Radio:					🗹 Enable	
Wireless	Network Mode:				A/N/AC-Mixed •	
Wireless	Channel Width:				O 20MHz 🖲 20/4	омн
Wireless	Channel:				Auto 🔻	1
U-APSD	(WMM Power Save	e);		(Auto	J
					40-5.200GHz	
Wirele	se Tablo				44-5.220GHz	
WII CIC.	33 10010				48-5.240GHz	
	Enable SSID	SSID Name	S	SID Broadca	52-5.260GHz 56-5.280GHz	е
		ciscosb1_5G		all a	60-5.300GHz	al
	OFF	ciscosb2_5G			64-5.320GHz 100-5.500GHz	
	OFF	ciscosb3_5G		1	104-5.520GHz	
	OFF	ciscosb4_5G			108-5.540GHZ 112-5.560GHz	
E	dit Edit S	ecurity Mode	Edi	t MAC Filteri	132-5.660GHz	of Da
					136-5.680GHZ	
		7			149-5.745GHZ 153-5.765GHz	
Save	Cancel				157-5.785GHz	
					161-5.805GHz	

ステップ6(オプション)[AP Management *VLAN*]*ドロップダウンリストで、デバイスの Webベースユーティリティへのアクセスに使用する仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN)を選択します。*このVLAN IDだけがデバイスを管理できます。

注:このオプションは、RV130Wでのみ使用できます。

Basic Settings	
Radio:	Enable
Wireless Network Mode:	B/G/N-Mixed ▼
Wireless Band Selection:	20MHz 20/40MHz
Wireless Channel:	Auto 🔻
AP Management VLAN:	1 •
U-APSD (WMM Power Save):	Enable

ステップ7:(オプション)U-APSD(WMM Power Save)領域の[Enable] チェックボックスを オンにして、予定外の自動省電力配信(U-APSD)機能を有効にします。U-APSDは、Voice Over Internet Protocol(VoIP)の利用やWLANでの全二重データの転送などのリアルタイムア プリケーションに最適化された省電力方式です。発信IPトラフィックを音声データとして分 類することで、これらのタイプのアプリケーションはバッテリ寿命を延ばし、伝送遅延を最 小限に抑えることができます。

注:この例では、U-APSD(WMM Power Save)が無効になっています。ただし、このオプションはデフォルトで有効になっています。

Basic Settings	
Radio:	Enable
Wireless Network Mode:	B/G/N-Mixed ▼
Wireless Band Selection:	20MHz 20/40MHz
Wireless Channel:	Auto 🔻
AP Management VLAN:	1 🔻
U-APSD (WMM Power Save):	Enable

ステップ8:[Save] をクリックします。

ワイヤレスネットワーク名またはSSIDの変更

ステップ9:[Wireless Table]エリアで、設定するSSIDに対応するチェックボックスをオンに します。複数のSSIDを同時に編集できます。

注:この例では、ciscosb1 SSIDだけが編集されます。

W	Wireless Table									
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isolatio with SSID			
\bigcirc		ciscosb1		Disabled	Disabled	1				
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled	1				
	OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled	1				
	OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled	1				
	Edit	Edit Securit	y Mode	Edit MAC Filterin	ng	Time of I	Day Access			

ステップ10:[Edit] をクリックしてSSIDを変更します。

W	Wireless Table										
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isolatio with SSID				
V	ON	ciscosb1		Disabled	Disabled	1					
	OFF	ciscosb2		Disabled	Disabled	1					
	OFF	ciscosb3		Disabled	Disabled	1					
	OFF	ciscosb4		Disabled	Disabled	1					
C	Edit	Edit Securi	ty Mode	Edit MAC Filteri	ng	Time of I	Day Access				

ステップ11:スイッチをONに切り替えて、目的のSSIDを有効または無効にします。最初の SSIDのデフォルト設定はONですが、残りのSSIDのデフォルト設定はOFFです。

注:この例では、最初のSSIDが使用されます。

Wi	Wireless Table									
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isolatio with SSID			
V		ciscosb1		Disabled	Disabled	1				
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled	1				
	(OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled	1				
	OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled	1				
Edit Edit Security Mode			ty Mode	Edit MAC Filteri	ng	Time of I	Day Access			

ステップ12:[SSID Name] フィールドでSSIDのデフォルト名を変更します。

注:この例では、SSID NameをNetwork_Findに変更しています。

W	Wireless Table								
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter				
		Network_Find		Disabled	Disabled	1			
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled				
	(OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled				
	OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled				
	Edit	Edit Security Mode	Edit MAC Filt	ering	Time of Day	Access			

ステップ13:(オプション)ワイヤレスクライアントデバイスでSSIDを表示するには、 [SSID Broadcast]列の下のチェックボックスをオンにします。

W	Wireless Table								
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter				
		Network_Find		Disabled	Disabled 1				
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled				
	OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled				
	OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled				
	Edit	Edit Security Mode	Edit MAC Filt	ering	Time of Day Access				

ステップ14:[Save] をクリックします。

	W	ireless Table						
		Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter		VLAN
	•	ON	Network Find		Disabled	Disabled	1	۲
		OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled		1
		OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled		1
		(OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled		1
		Edit	Edit Security Mode	Edit MAC Filt	ering	Time of Day	/ Access]
Ľ								
C	S	Save	Cancel					

ワイヤレスセキュリティの設定

ステップ15:[Wireless Table]エリアで、設定するSSIDに対応するチェックボックスをオンに します。

注:この例では、Network_Find SSIDを編集します。

	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isola with SSID
•		Network_Find		Disabled	Disabled	1	
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled	1	
	OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled	1	
	OFF	ciscosb4		Disabled	Disabled	1	
	Edit	Edit Securit	y Mode	Edit MAC Filteri	ng	Time of [Day Access

ステップ16:[Edit Security Mode] をクリックします。

	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isola with SSIE
•		Network_Find		Disabled	Disabled	1	
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled	1	
	OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled	1	
	OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled	1	
Edit Edit Security Mode				Edit MAC Filteri	ng	Time of [Day Access

ステップ17:ドロップダウンメニューから、編集する必要があるSSIDを選択します。

注:この例では、[Network_Find]が選択されています。

Security Settings					
Select SSID:	Network Find				
Security Mode:	CISCOSD1_5G DISADIEC				
Save	Cancel Back				

ステップ18:ドロップダウンメニューから[Security Mode]を選択します。

Security Settings					
Select SSID:	Network_Find ▼				
Security Mode:	WPA2-Personal	1			
Encryption:	Disabled				
Security Key:	WPA-Personal WPA-Enterprise	Secure			
Unmask Password:	WPA2-Personal)			
Key Renewal:	WPA2-Enterprise WPA2-Enterprise Mixed	Range: 600 - 7200, Default: 3600)			
Save Cancel Back					

次のオプションがあります。

- [Disabled]:これはデフォルト設定です。[無効(Disabled)]を選択すると、ワイヤレスネットワークはセキュリティで保護されなくなり、ワイヤレスクライアントデバイスを持つ人は誰でも簡単にネットワークに接続できるようになります。
- WEP:Wired Equivalent Protection(WEP)は従来のセキュリティタイプです。このタイプのセキュリティでは、A ~ Fの文字と0 ~ 9の数字を組み合わせて使用できます。
- WPA-Personal(WPA-Personal):Wi-Fi Protected Access-Personal(WPA-Personal)は、WEPよりも安全なセキュリティの一種ですが、家庭環境に適しています。ワイヤレスネットワークの保護にTemporal Key Integrity Protocol(TKIP)暗号を使用します。従来のセキュリティモードですが、WPA-Personalを使用してパスワードを設定する場合は、最大64文字の文字と数字の組み合わせを使用できます。このオプションは、RV132WおよびRV134Wでは使用できません。
- WPA-Enterprise:通常、エンタープライズネットワークで使用されます。このタイプのワイ ヤレスセキュリティ設定を完了するには、Remote Authentication Dial-In User Service(RADIUS)が必要です。このオプションは、RV132WおよびRV134Wでは使用できま せん。
- WPA2-Personal:WPA2はWPAの更新バージョンです。Advanced Encryption Standard(AES)暗号を使用してワイヤレスネットワークを保護します。WPA-Personalと同様 に、WPA2-Personalはパスワードに大文字と小文字を区別する文字と数字の組み合わせを使 用します。このセキュリティタイプが推奨されます。
- WPA2-Personal Mixed:WPAとWPA2の両方をサポートするワイヤレスクライアントデバイス

にルータを対応させます。

- WPA2-Enterprise:WPA-Enterpriseと同様に、通常はエンタープライズネットワークで使用されます。このタイプのワイヤレスセキュリティ設定を完了するには、RADIUSが必要です。
- WPA2-Enterprise Mixed:このセキュリティタイプにもRADIUSが必要で、通常はオフィス環 境で使用されます。

注:ワイヤレスセキュリティを選択すると、ルータは自動的に暗号化を選択し、ランダムな 英数字のパスワードを生成します。この例では、[WPA2-Personal]が選択されています。

Security Settings					
Select SSID:	Network_Find				
Security Mode:	WPA2-Personal				
Encryption:	AES				
Security Key:	AD4121D3b195A104F57D7fAFA7 Strong				
Unmask Password:					
Key Renewal:	3600 Seconds (Range: 600 - 7200, Default: 3600)				
Save Ca	ncel Back				

ステップ19:[Unmask Password]チェックボックスをオンにして、セキュリティキーをプレ ーンテキストで表示します。

注:これがワイヤレスパスワードになります。このパスワードは、ネットワークにワイヤレ スで接続するときに必要になるため、メモしておいてください。パスワードでは大文字と小 文字が区別されます。必要に応じてパスワードを変更できます。

Security Settings					
Select SSID:	Network_Find ▼				
Security Mode:	WPA2-Personal				
Encryption:	AES				
Security Key:	AD4121D3b195A104F57D7fAFA7 Strong				
Unmask Password:					
Key Renewal:	3600 Seconds (Range: 600 - 7200, Default: 3600)				
Save Ca	ncel Back				

ステップ20:(オプション)[Key Renewal] フィールドでキー更新値を設定します。デフォ ルト値は 3600 です。

Security Setting	Security Settings				
Select SSID:	Network_Find				
Security Mode:	WPA2-Personal				
Security Key:	AD4121D3b195A104F57D7fAFA7				
Unmask Password:					
Key Renewal:	3600 Seconds (Range: 600 - 7200, Default: 3600)				
Save Ca	ncel Back				

ステップ21:[Save(保存)]をクリックして設定を保存し、[Basic Settings(基本設定)]ページ に戻ります。

Secu	Security Settings				
Selec	t SSID:	Network_Find			
Secur	ity Mode:	WPA2-Personal			
Encry	ption:	AES			
Secur	ity Key:	AD4121D3b195A104F57D7fAFA7			
Unma	isk Password:				
Key R	enewal:	3600 Seconds (Range: 600 - 7200, Default: 3600)			
Sa	ve Car	ncel Back			

MACフィルタリングの編集

手順22:RV132WまたはRV134WルータでMedia Access Control(MAC)フィルタリングを設定 します。手順については<u>ここ</u>をクリックしてください。RV130Wを使用している場合は、<u>こ</u> <u>こ</u>をクリックして方法を確認してください。

注:この例では、MACフィルタが無効になっています。

W	Wireless Table								
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isola with SSIE		
•		Network_Find		Disabled	Disabled	1			
	OFF	ciscosb2		Disabled	Disabled	1			
	OFF	ciscosb3		Disabled	Disabled	1			
	OFF	ciscosb4		Disabled	Disabled	1			
	Edit	Edit Securit	ty Mode	Edit MAC Filteri	ng	Time of	Day Access		
S	Save Cancel								
5	ave	cancel							

VLANメンバーシップの設定

ステップ23:[Wireless Table]エリアで、設定するSSIDに対応するチェックボックスをオンにします。

注:この例では、Network_Find SSIDのみを編集します。

W	ireless Table									
	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	with SSID			
C		Network_Find		WPA2-Personal	Disabled	1				
	OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled	1				
	OFF	ciscosb3		Disabled	Disabled	1				
	OFF	ciscosb4		Disabled	Disabled	1				
	Edit	Edit Securit	y Mode	Edit MAC Filterin	ng	Time of I	Day Access			
S	Save Cancel									

ステップ24:SSIDに関連付けられたVLANを選択します。追加のVLANを作成する場合は、<u>こ</u>をクリックします。

注:この例では、デフォルト設定のVLAN 1のままになっています。

	W	ireless Table					
	0	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN
	V	ON	Network_Find	2	WPA2-Persona	Disabled	1 🔻
		OFF)	ciscosb2		Disabled	Disabled	4
		OFF)	ciscosb3		Disabled	Disabled	Add new VLAN
		(OFF)	ciscosb4		Disabled	Disabled	1
		Edit	Edit Security Mode	Edit MAC Filt	ering	Time of Day	/ Access
_							
	S	Save	Cancel				

ステップ25:[Save] をクリックします。

SSIDによるワイヤレスの分離の有効化

ステップ26:[Wireless Table]エリアで、設定するSSIDに対応するチェックボックスをオンにします。

ステップ27:(オプション)[Wireless Isolation with SSID]列の下のチェックボックスをオン にして、機能を有効にします。ワイヤレス分離が有効な場合、同じSSIDに接続されたクラ イアントは互いにpingできません。この機能はデフォルトで無効になっています。この例で は、SSIDを使用したワイヤレス分離は無効なままです。

Wireless Isolation with SSID	wмм	Max Associated clients	WPS	Captive Portal Portal Profile	Enable
0	•	10	•	Please select a Profile 🔹 🔻	
		0		Please select a Profile 🔹 🔻	
	1	0		Please select a Profile 🔹 🔻	
	1	0		Please select a Profile 🔹 🔻	
Edit WPS					

ステップ28:(オプション)Wi-Fiマルチメディア(WMM)を有効にするには、[WMM]列の下 のチェックボックスをオンにします。 この機能を使用すると、さまざまな種類のトラフィ ックにさまざまな処理優先順位を割り当てることができます。Quality of Service(QoS)を設 定して、さまざまなアプリケーション、ユーザ、またはデータフローに対してさまざまな優 先順位とパフォーマンスレベルを提供できます。

	Wireless Isolation	wмм	Max Associated clients	WPS	Captive Portal	
	with SSID				Portal Profile	Enable
		\odot	10		Please select a Profile 🔹 🔻	
I			0		Please select a Profile 🔹	
I			0		Please select a Profile 🔹 🔻	
I			0		Please select a Profile 🔹 🔻	
	Edit WPS					

ステップ29:(オプション)[Max] [Associated *clients*]フィールドで、選択したワイヤレスネットワークに接続できるクライアントの最大数を選択します。RV130Wでは最大64のワイヤレスクライアントが許可されます。RV132Wは最大50の同時クライアントをサポートし、RV134Wは最大100の同時クライアントをサポートします。

注:この例では、[Max Associated clients]が10に設定されています。

Wireless Isolation		Max Associated clients	WPS	Captive Portal			
with SSID	VVIVIIVI	Max Associated citerits	WFS	Portal Profile	Enable		
		10		Please select a Profile 🔹 🔻			
	1	0		Please select a Profile 🔹			
	1	0		Please select a Profile 🔹			
		0		Please select a Profile 🔹			
Edit WPS							

ステップ30:(オプション)デバイスのWi-Fi Protected Setup(WPS)情報をこのネットワークにマッピングするには、[WPS]列の下のチェックボックスをオンにします。

Wireless Isolatior with SSID	wmm	Max Associated clients	WPS	Captive Portal Portal Profile	Enable
		10	0	Please select a Profile V	
		0		Please select a Profile 🔹	
		0		Please select a Profile 🔹	
		0		Please select a Profile 🔹	
Edit WPS				·	,

キャプティブポータルの有効化

ステップ31:(オプション)SSIDに対してキャプティブポータル機能を有効にする場合は、 [Captive Portal]エリアで[Enable] チェックボックスをオンにします。キャプティブポータル は、ユーザにアクセス権を与える前に、ユーザをポータルに転送してログインさせます。こ れは通常、ビジネスセンター、モール、コーヒーショップ、空港、および公共のワイヤレス インターネットアクセスを提供するその他の場所に実装されます。このオプションは、 RV130Wでのみ使用できます。

Wireless Isolation	WMM	May Associated clients	WPS	Captive Portal	
with SSID	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	max Associated clients		Portal Profile	Enable
		10		Please select a Profile 🔹 🔻	
	1	0		Please select a Profile 🔹	
	1	0		Please select a Profile 🔹 🔻	
	1	0		Please select a Profile 🔹 🔻	
Edit WPS					

ステップ32:(オプション)[Portal Profile]ドロップダウンリストでキャプティブポータルプ ロファイルを選択します。

注:この例では、PublicWebAccessポータルプロファイルが選択されています。

Wireless Isolation		Max Associated clients	MPQ	Captive Portal	
with SSID	VVIVIIVI	Max Associated citerits	wrs	Portal Profile	Enable
		10	~	Please select a Profile 🔹 🔻	
				Please select a Profile	
	4	U		PublicWebAccess	
	1	0		Create a new Portal Profile	
	1	0		Please select a Profile 🔹	
Edit WPS					

ステップ33:[Save] をクリックして設定を保存します。

Edit	Edit Security Mode	Edit MAC Filtering	Time of Day Access
Sava	Cancel		
Save	Cancer		

構成設定が正常に保存されたことを示す確認メッセージが表示されます。ワイヤレステーブ ルが新しく設定されたネットワークで更新されます。

Basi	c Setting	IS											
~	Configur	ation settings	s have been sa	ved successful	ly								
Radio	E							able					
Wirele	ess Network	Mode:					B/G/t	N-Mixed	•				
Wirele	ess Band Se	lection:					® 20	MHz 🖯	20/40MHz				
Wireld	ess Channel	:					Auto		•				
AP M:	anagement \	/LAN:				1.							
U-AP:	SD (WMM P	ower Save):				Enable							
Wire	eless Table												
0 E	nable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isolation with SSID	WMM	Max Associated clients	WPS	Captive Portal Portal Profile	_	Enable
		Network_Find	M	WPA2-Personal	Disabled	1		2	10	12	PublicWirelessAccess	•	12
	089	ciscosb2		Disabled	Disabled	1			0		Please select a Profile	۲	
		ciscosb3		Disabled	Disabled	1		1	0		Please select a Profile	۲	
		ciscosb4		Disabled	Disabled	1		1	0		Please select a Profile	۲	
	Edit	Edit Securit	ly Mode	Edit MAC Filteri	ng 🗌	Time of	Day Access		Edit WPS				

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。